

////////////////////////////////////  
■プログラム名： タイピングEキットファイナル Compositions、TheConversation、  
TheScriptsPlanB  
■作者： YukiOddman ' 22/5/30  
■対応： Windows XP, Vista, 7, 8(8.1), 10, 11 の OS、Office 2007、2010、2013、2016、365、  
2019、2021(2007、2010(x86, x64)は別ディレクトリ)  
////////////////////////////////////

業務上または全ての場合において、当プログラムを使用して発生した損害に対し、当方は、一切の責任を負いません。  
以上の事をご理解した上で、ご使用できる方のみに使用してください。

操作に入る前に必ず目をお通してください。

当プログラムは、Windows のパソコン、そしてオフィスソフトのエクセル 2007 以降が必要になりますのでご了承ください。

まずは、スタートメニューの[設定]より、音声パッケージをダウンロードします。

スタートに移動し、[設定] を開きます。

[時刻と言語]、[音声認識] の順に選択します。

音声の管理から、[音声を追加] ボタンを選びます。

音声パッケージより、ロケール下の[英語 (米国)]、[英語 (英国)]をそれぞれ選び、チェックボックスを使用して、[追加] ボタンを選びます。

必ず、二つをそれぞれインストールしてください。

インストールされている音声パッケージに日本語、英語 (米国)、英語(英国)と表示されていればOKです。

次に、コントロールパネルにて音声認識を設定します。

タスク バーの検索ボックスに「コントロール パネル」と入力し、検索結果の一覧で [コントロール パネル] を選択します。次に、[音声認識]、[高度な音声オプション]、[音声合成] を選択します。

ここがとても重要です(デフォルトでは音声の選択では、“Microsoft Haruka Desktop – Japanese”が設定されています)。

↓キーをクリックして、  
[Microsoft David Desktop – English (United States)]  
[Microsoft Zira Desktop – English (United States)]

[Microsoft Hazel Desktop – English (Great Britain)]のうち、好みのボイスの先生(当方、Windows10 を使用しておりますので、この音声は他の OS では異なると思います)をどれかひとつを選択します。

最後に、[適用]、[OK]を選びます。

あと、もう一点作業があります。

エクセルマクロの設定を下記の要領で、変更してください。

トラスト センターもしくは、セキュリティセンター → マクロの設定 → すべてのマクロを有効にする(推奨しま……)のところを変更してください、これを行わないとともに動きません。

但しこの場合、ウイルス対策のソフト側でもセキュリティ管理が行われるはずですので、どこのウイルス対策フリーソフトでもいいので、必ずインストールしていた方が安全だと思われます。

以上で、初期設定は完了となります。

続いて、ソフトウェアの操作ですが、編集モードに入る際、音声のバッファリングが残るため、編集がしにくくなっておりましたが、コピペにて編集の際は、“X”マークで終了しないで、[Quit]、[いいえ]を選択し、終了を試みてください。

全角の“～”は、“Shift” + “へ”の半角での入力に切り替える必要があります(基本的に英文タイプを基準にしていますので、1バイトの半角ベースです)。

殆どは直感にて操作が可能になっておりますが、音声の切れないタイミングは、タイプ入力後“数秒”待っていただきますとスムーズにトレーニングが可能だと思います。

“Auto Player”、“Random Player”、“Repeats”では、タブレットのタッチキーボードボタンでも使いやすいように “→”キーで動作を止めることができます。

グラフ作成を次のシートで作成しておりますが、エクセルの構造上、メニューには始めのシートに戻って操作しないとデータが代わってしまいますので、グラフを参照しましたら前シートに戻る操作を行ってください。

なお、Windows10 は、“1903”のバージョンをお使いの方で、アップデートをブロックされている方は、音声認識エンジン“Zira”以外が削除されてしまいますが、恐らく OS 側のスピーチエンジンもアップデートしている可能性があります。その場合は、アップデートのブロックを一旦オフにして音声認識で、再度、“English”の“United States”と“Great Britain”を再インストールしていただけますでしょうか(Windows10 で、非力なパソコン、タブレットで高速で動かせるバージョンは唯一、“1903”)。

その際、スピーチエンジンのインストールが終わりましたら、すぐにでもアップデートのブロックをオンにして、再起動しないと、OS のアップデートのプログラムがインストールされますので、ご注意くださいと存じます。

ご面倒な場合は、最初から“Zira”にしておくことが無難だと思いますが、通常の Windows10 や 11 でのご使用をされている方の場合(通常通りのバージョンアップ)でしたら、音声認識の設定は特に必要ではございません。

当ソフトは、英会話、平易な英作文、もしくは語呂合わせなどの英単語・イディオムを覚えるための例文暗記を補助するエクセルマクロベースのツールになります。

基本的に、エクセルマクロではデータが多くなれば遅くなります、サウンドも音が途切れますので、できるだけデータ側で編集を加えます。

※TheScriptsPlanB のみ

例題のように “Japanese”、もしくは “Sentence” の列には英文、改行キー、日本語という編集がベストです、改行キーがわからない方は、元データからコピーしてください。

“English” の列には英単語、この部分は読み上げしません、“Examples” の列、=” (“& D2 & ”) “などの式をエクセルの基本機能を使って、式を取り除いた列 (値のみ) のコピーをしていただくと楽に編集出来ると思います “Examples” は、音声スピーチエンジンとマッチングしておりますが、データを参考に真似してデータ編集を行ってください。

グループリストのジャンルは最大 46 に設定し直しました、悩んだ上でのジャンル数となりました、これ以上増やしますとエクセルマクロではかなり重たくなってしまい、音源はかなり飛んでしまいます、7 からの検索条件は、コンボボックスを採用しています。

ジャンルの先頭行に、フォントスタイルを太字にする機能を追加しました、また、標準フォントに戻せる青色のコマンドボタンを追加しました。

“Produced by YukiOddman” のロゴの隣には、“Miscounts” グラフのデータを削除できる青色のコマンドボタンも更に追加してあります。

同じグループの再生に関しては、リプレイがコンボボックスの隣のデカコマンドボタンによって可能です、再々生時にお役立て下さいませ。

なお、2007、2010 (x86) は、“2007、10 (x86)” のディレクトリ、2010 (x64) では、“2010 (x64)” のディレクトリとしました、2007、2010 (x86) のプログラム全てのメニュー画面には、センター下側に “2007、2010 32 ビット” のロゴ、また、2010 (x64) に関しましては、“2010 64 ビット” のロゴを施しております。

“No” と “Miscounts” の内容についての説明に変わりますが、前はテキストを事前に用意してコピーしておりましたが、1000 行以上あるデータの場合はナンバーの打ち込みが大変でした。

そんな理由から、次なる機能を搭載しております。

“No” の真下の 2 行目のセルを削除 (Del) キーを押印 (空にする) して一旦、保存して立ち上げ直してみてください、次の再立ち上げにより自動作成のメニューがでてくるようになっております (オリジナルの番号 “7001” など可能です、この場合は手動で作成ですが、番号をひとまず作成してからでも追加はできると思います)。

“MisCounts” は “0” の値のみですが同様に行ってみて下さい (全部のリセットを “0” で行いたい場合でも、2 行目のセル削除で行えます)。

グループ分けが出来ますが、その際にエクセルのセル操作で列挿入をしていただき、“=” “A” & Axx” などの操作を行って下さい、式を取り除いた列 (値のみ) をコピーしていただければ、グループ分けが簡単に作れます。

このような操作がフレキシブルにできることがエクセル (マクロも含む) のメリットです、高級言語となるコンパイル型のプログラムになりますとデータ形式にあてはめなければいけなくなり、面倒になるのです。

タイピングEキットファイナルでは、Compositions の見本データの配布をなくすことで、880 円だった料金を無料化、ライセンスプログラムを廃止することにしました。  
(エクセルマクロのプログラムは非公開にしてあります)。

なお、当ブログ(<https://www.yukioddman.blog>)では、新しい情報を更新していることがございますので、たまにでもご覧になってください。

※エクセルマクロのインタープリタ方式では処理に限界があって、パソコンスペックにも左右されるため、若干の音切れが発生する場合がありますことをお許しください(注意点としましては、300 行を超えた場合は次なるファイルを 2 番目、3 番目とコピーを複数作成していただき、それぞれ分けてご利用いただくことが望ましいと存じます。  
また、それらの方法を取り入れていただくことで、音切れの現象をある程度まで、抑えることができます。  
次ファイルが必要な場合がございますら、ファイル毎の先頭は、“7 1” もしくは “1” が “No” のスタートとなります。  
もし、500 行の英文がございましたら、多少の前後がありましても、250 行ずつの 2 つのファイルを御作りになるという感じでございます。

自分のソフトを使うことで、エクセルの基本操作も覚えられるので、一石二鳥とも言えると思います。

ちなみにデータ編集は、どれを選んでいただいても可能(敢えてエクセルマクロ、英文暗記なら何といっても当ソフトタイピングシリーズ)です。

ファイル名→参考書名を決めていただいて、整理しながら、英会話、平易な英作文、もしくは語呂合わせなどの英単語・イディオムを覚えるための例文暗記などにお役立てください。

Windows11 は、動作確認して問題はありませんでしたが、できれば、Windows10 以外でも下記の要領で作業をお願い申し上げます。

コントロールパネル内の “音声認識” と “サウンド” のショートカットをデスクトップに貼り付けて置かれることをお勧めいたします、“ - ショートカット” の部分の名前が気になるのであれば、名前の変更にて、その部分をリネームしていただければ済みます。

“Blind (B)” のコマンドボタンを追加しました(2007、2010(x86、x64)は、“Blind” のチェックボックスの仕様になります)。

Office2010(x64) 版も追加しました、基本的に他の 64 ビット版でも動きますが、関数が以降のバージョンとは違うので、エラーとなります。

2007、2010 以降のバージョンに関しましては、ほぼ共通して動くと思っていただければ幸いです。

※このマニュアルのドキュメントや本ソフトは YukiOddman に帰属しますが、著作権は作者である YukiOddman が保有しています。

また、冒頭でも説明の通り、全てのタイピングシリーズには、それぞれにオフィス 2007 以降が必須でお持ちでない場合、動作はできかねますことをご容赦願います。

Everybody has talent, but ability takes hard work.

誰もが才能を持っている。でも能力を得るには努力が必要なんだ。

– マイケルジョーダン

当ドキュメントや本ソフトに関することは、YukiOddman 宛てまで、お気軽にご連絡をお待ちしております。

yukioddman@gmail.com